

寅さん歩 その 5-8

東京の桜 2019-1



平野武宏

その開花や満開がニュースとなり、花吹雪で散って行く桜は、やはり日本人の心には欠かせないものです。映画の寅さんも桜にはご縁があります。

「さくら祭」の会場はテキヤの寅さんの商売の場、妹の名も「さくら」です。

2019 年(平成 31 年)の東京の開花宣言は全国で 2 番目の 3 月 21 日で、平年より 5 日早く、昨年より 4 日遅れです。満開宣言は全国で 1 番早い 3 月 27 日で平年より 7 日早く、昨年より 3 日遅れです。

「寅さん歩 東京の桜」は 2013 年、2014 年、2017 年、2018 年及び「江戸・東京の祭-17(花の祭-3)」で紹介していますのでご参照ください。

2019 年は今まで紹介していない東京の桜を訪問順に紹介します。

〔日比谷公園の陽光桜〕 (千代田区日比谷公園)



祝田門から心字池に向かい
第一花壇手前で見つけました。
案内板には「広義のソメイヨシ
ノの一品種、アマギヨシノと
寒緋桜(かんひさくら)との交
配種(栽培品種)」と記載。
3 月 24 日の撮影です。

〔牧野記念庭園の桜〕 (練馬区東大泉) 3 月 25 日の撮影です。

世界的植物学者 牧野富太郎博士の居宅跡に 1958 年に開園しています。

〔オオカンザクラ〕 正門にあります。カンヒザクラの園芸品種とのこと。



〔カンヒザクラ〕



〔ワカキノサクラ〕



「カンヒザクラ」は桜の原種のひとつ。「ワカキノサクラ」は 牧野博士が郷里 高知県佐川町で栽培されていたものに命名。播種 3 年目で既に開花が見られたことから命名されたと言われているとのこと。

〔センダイヤ〕



やまざくらの栽培品種で、開花期はソメイヨシノよりもやや早く、花は淡紅紫色で先端とふちはやや色が濃いのが特徴。高知県高知市の仙台屋という店の前にあったもので、牧野博士がその名をつけたといわれています。成木は数少なく、この木が日本では一番の大木とされています。

サクラ名は牧野記念庭園の資料がカタカナ表示なので、それを記載しました。

〔大泉氷川神社のしだれ桜〕（練馬区大泉町）



橋戸町(現 大泉町)の鎮守。
1849 年(寛永 2 年)伊賀組衆 108 名が奉納した水盤と鳥居(区有形文化財)があります。
3 月 25 日の撮影です。

〔千川通りの桜〕（練馬区桜台）



千川上水は玉川上水を水源とし、江戸城の城北地域へ流れる用水路です。
千川通り沿いは暗渠となっています。桜並木は大正天皇の即位を記念して
植樹したのが始まりとのこと。 3月27日の撮影(写真右は4月5日撮影)

〔武蔵大学の桜〕

（練馬区豊玉上）



〔日本大学藝術学部 江古田校舎の桜〕

（練馬区旭町）



武蔵大学は寅さん歩 214 東京の学食めぐり-20 を参照ください。
日本大学藝術学部は学食めぐりで来ていません。
3月27日の撮影です。

〔尾久の原公園の桜〕（荒川区東尾久）

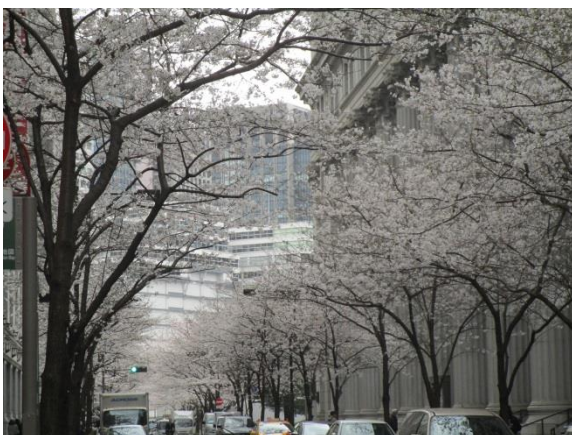
1993年、旧旭電化工業（現:ADEKA）尾久工場の跡地に整備された都立公園です。2002 年荒川区民等の皆さんによりシダレ桜 170 本が植樹され、すでにあったシダレザクラと合わせると約 220 本となり桜の新名所になりました。満開には少し早かったようです。3 月 28 日の撮影です。



写真下は 2017 年 4 月 6 日撮影の尾久の原公園の満開のシダレザクラです。



〔江戸さくら通りの桜〕



〔マンダリンオリエンタル東京の桜〕



「江戸さくら通り」は三越本店と三井本館の間の道で日本銀行方面に向かう桜並木です。

「マンダリンオリエンタル東京」のIFエスカレーター脇には本物のソメイヨシノ(産地:神奈川県)が植わっていました。

いずれも中央区日本橋室町で3月28日の撮影です。

〔国際基督教大学の桜〕（三鷹市大澤）



2018年8月に訪問(寅さん歩 223 東京の学食めぐり-27 参照ください)
桜の季節にぜひ来たいと訪れました。花曇りでした、が予想通りの素晴らしい桜並木でした。3月29日の撮影です。

次回は 寅さん歩 東京の桜 2019-2 に続きます。

平野 寅次郎 拝